

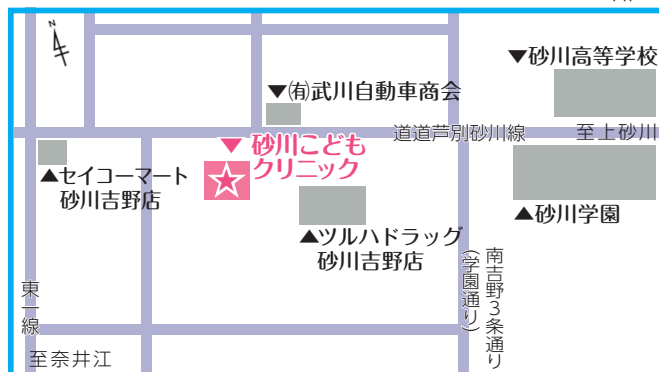
砂川こどもクリニック



砂川こどもクリニックの詳細については、
右記 QR コードからも確認ができます。



HP



診療所情報	
所在地	砂川市吉野1条南5丁目35番地11
電話	74-8650
診療科目	小児科・アレルギー科
設備	キッズスペース、授乳スペース、おもひつ交換台

開業医情報提供のお願い

市では、市内で新たに診療所を開設・承継する医師に対し、建設費や医療機器等取得費などの一部を助成する「開業医誘致等助成制度」を設けています。引き続き本制度を活用した医師の誘致を進め、市民の皆様が安心して医療を受けられる環境づくりに取り組んでいきます。診療所の開設を予定・検討されている方がいましたら、ご紹介をお願いします。

かかりつけ医を持ちましょう

かかりつけ医とは、日頃から病気や健康に関することを相談でき、専門的な治療や検査が必要なときに、適切な専門医療機関を紹介してくれる身近な医師のことです。日頃から通院されている方の体調や病歴を把握しているため、小さな変化に気づきやすく、病気の早期発見や重症化予防につながります。また必要に応じて症状に合った医療機関などへの確につないでもらうことができます。

かかりつけ医の紹介状を持参して大きな病院を受診すると、すでに受けた検査や治療を省略できる場合があります。一方、紹介状なしに受診すると、診療費とは別に「初診時選定療養費（※）」が発生することがあります。こうした負担を避けるためにも、日頃から継続的に健康管理を任せられる「かかりつけ医」を持つことが安心への第一歩です。

※初診時選定療養費とは

他の医療機関からの紹介状を持たずに、一定規模以上の病院を初めて受診した際に、通常の診療費とは別にかかる費用のこと。

市立病院からのお知らせ～小児科を受診する患者さんへ～

岡市立病院医事係 54-2131

砂川市立病院は、地域医療の中核を担う医療機関として重症な方、専門的な医療を必要とされている方を中心に診療を行う「紹介受診重点医療機関」に指定されています。そのため、紹介状を持たずに右表の診療科を受診した場合、診療費とは別に初診時選定療養費および再診時選定療養費をご負担いただいています。10月8日(木)より、対象の診療科に小児科が加わります。

診療科	初診時選定療養費	再診時選定療養費
内科(総合診療科)・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・精神科・耳鼻咽喉科・小児科	7,700 円	3,300 円
歯科口腔外科	5,500 円	2,090 円
その他	徴収なし	徴収なし

地域の健康を支える 新しい“かかりつけ医”が誕生します

開業医誘致制度で第1号の開院 砂川こどもクリニック

岡ふれあいセンターTel 52-2000

10月8日、市内に「砂川こどもクリニック」が開院します。診療科目は小児科とアレルギー科。木田院長は、約28年間小児医療に携わってきた小児科医です。このたび、市の「開業医誘致等助成制度」を活用し、ご家族とともに砂川市へ移住しての開業です。地域の医療体制を充実するために取り組みを開始した「開業医誘致等助成制度」。これまで市内には小児科を専門とする診療所はなく、身近なかかりつけ医を求める声がありました。「砂川こどもクリニック」の開業は、そうした市民の方の声に応える大きな一歩です。

地域の小児医療を支える新たな一歩に込めた思いを、木田院長に伺いました。



砂川こどもクリニック
木田 和宏 院長

経歴と専門分野

弘前大学医学部を卒業後、道内数か所の総合病院で経験を積んだ後に、小児科専門医の資格を取り、さらに北海道大学大学院で、医学博士号を取得しました。研究分野は先天代謝異常という遺伝性の病気に関するもので東京の小児専門病院でその分野の仕事に就いた後、北海道に戻りました。また、コロナ禍を経験した際に、感染症対応の知識が必要であることを痛感し、インフェクションコントロールドクター（感染管理医師）の資格を取得しました。

開業を決めたきっかけ

これまで、大学病院、小児専門病院、地域の基幹病院、へき地の病院で小児科勤務医として働いてきました。それぞれに求められる仕事は違いますが、小児科医が少ない地域の小児医療を支える、地域にできるだけ標準的な医療を届けることが自分には合っていると感じ、地域小児医療をやりたいと思うようになりました。

砂川市に開業を決めた理由

これまでの報道でも「助成額の手厚さ」に注目したものが多く、それは大変ありがたいことですが、砂川市を選んだ一番の理由はそこではなく、「市の担当者、関係者の皆さまの熱意」に尽きます。その土地で仕事をするということとは、そこで家族と暮らすということでもあり、そこで考えたときに、「こちらの疑問に対して一番きめ細やかに対応いただいたのが砂川市でした。やはり働く以上は必要とされているところで働きたいという思いでやっています。空知に住むこと、働くことは初めてですが、自分がいる地域の医療を支える、という意味では特に不安はありません。」

診療で大切にしていること

小児科なので保護者の方へお伝えすることが多くなりますが、専門用語はなるべく使わず、できるだけわかりやすい言葉で起きていることや治療方針を伝えるよう心がけています。また、スタッフに楽しく働いてもらうことも大事だと考えています。雰囲気がよく緊張しすぎない環境は能力を発揮しやすいですし、患者さんの診療により影響を及ぼすものと思っています。

他の医療機関との連携

小児科を受診される方は、「お子さんがどんな病気なのか」を知りたいと思いますので、感染症やアレルギーに関してある程度、検査機器を充実させたつもりです。しかし、自分だけの判断では不十分な場合や、入院が必要と判断する場合、精密な検査を行ったほうが良いと思われる場合には砂川市立病院などを紹介します。

市民の皆さんへ

地域の小児科医の役割は「お子さんたちが元気に暮らすお手伝いをする」ことだと思っています。その意味では実は「みんな元気で小児科に行かない」が理想ですが、実際にはお子さんたちはさまざまに体調を崩し、ご家族は不安を感じるのが現実です。「こんなことを相談していいのだろうか」と思うことでもぜひお話ししてください。できるだけ不安を解消するのも小児科医の大事な仕事で、安心してもらえるところからも安心します。また、当院は小児科クリニックですが、大人の方の予防接種なども対応していきますので、ご相談いただけたらと思います。